

J A T E T ニュース 第 1 号
2003年 10月9日 (木)
<http://www.jatet.or.jp/>

最新の活動情報はココでチェック
CHECK --> <http://www.jatet.or.jp/jim/katsudouyotei/katudou.htm>

J A T E T ニュース 第 1 号 INDEX

機関誌 J A T E T 第 5 1 号発行。
国際交流部会が海外関連団体の定期刊行物のダイジェスト紹介を決定。
J A T E T ホームページに「談話室」新装オープン。
O I S T A T 本部総会がプラハで開催され、憲章改訂。
仮称「木造建築劇場研究会」の提案。

J A T E T : (社)劇場演出空間技術協会は、劇場、ホール、イベント空間等の施設、設備、関連機器、関連技術等の調査研究等を行っております。このたび、会員や関係者との交流を深めるため「J A T E T ニュース」を創設しました。とりあえず会員、御世話になった方あるいはこれまでにお問い合わせをいただいた方などにお送りしました。送信をご希望されない方、このアドレス以外に送信を希望される方は、その旨、このメールに返信して下さいますようお願い申し上げます。

機関誌 J A T E T 第 5 1 号発行。

第 5 1 号は「人形劇場」を特集し、国内 4 劇場およびプラハ P Q 2 0 0 3 の「人形劇場」を紹介します。
<http://www.jatet.or.jp/com/bulletin/JATET41-60.html>

国際交流部会が海外関連団体の定期刊行物のダイジェスト紹介を決定。

国際交流部会では、J A T E T としての国際交流活動を検討しています。手始めに、海外の関連団体から寄贈されている定期刊行物の内容紹介をしていくことを決め、刊行物ごとに担当者を割り振り、作業を開始しました。出来たところから J A T E T のホームページで紹介していきます。
<http://www.jatet.or.jp/com/int-sm/>

J A T E T ホームページに「談話室」新装オープン。

J A T E T 会員相互の交流を初め、ホームページを訪れた方々とのコミュニケーションの場として、「談話室」を新装オープンしました。話題ごとに、ツリー構造で構成されていますので、お好きな話題にご参加下さい。
<http://www.jatet.or.jp/cgi-bin/mbbs/mbbs.cgi?room=jatetbbs>

O I S T A T 本部総会がプラハで開催され、憲章改訂。

4年に一度開催される「世界舞台美術展：プラハ・カドリエナーレ・PQ 2003」に併せて開催されたOISTAT本部総会で、OISTAT憲章が改訂され、各国に複数のセンターが認められることになりました。世界中のいかなる地域のいかなる人もOISTATの活動に参加できるようにしようとする改訂で、OISTATにとって歴史的な総会となりました。詳細記事がJATET誌51号に掲載されています。

<http://www.oistat.jp/>

<http://www.oistat.org/>

仮称「木造建築劇場研究会」の提案。

木造建築の劇場の調査と保存の研究会をつくりたいと、近畿大学文芸学部、山崎泰孝教授が提案されています。研究する分野、内容等もこれから検討します。会員資格、専門分野を問わず、関心のある方は、その旨ご返信下さい。

社団法人 劇場演出空間技術協会 インターネット部会 info@jatet.or.jp
〒101-0045

東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6 第一古川ビル 2A

TEL 03-5289-8858 FAX 03-3258-2400

<http://www.jatet.or.jp/>

J A T E T ニュース 第 1 号